

平成31年度 長野県立大学 一般選抜（前期日程）
グローバルマネジメント学部 小論文 出題意図

【概要】

現代社会の問題の一つである人口減少や少子化について論じている日本語の課題文と図表を提示し、読解力、問題認識力、柔軟な思考力、論理的説明力を問う小論文問題を出題した。課題文を読み、問題の所在を理解した上で、提示されている個々の資料を参考にしながら、問われていることについて、的確に論証できるかを問うた。

ステレオタイプな偏見に囚われず、個人の意見を問うのではなく、提示されたデータを分析することで、解を導き出すことのできる能力を問うた。

【問1】

図表は、ある意図を持って社会現象を幾つかの角度から切り取って提示するために作成されている。その図表を読み、提示されている内容について、与えられた文字数の中で、その図表から読み取れるできる限り多くの情報を、正確に記述することができるかを問うた。

限られた文字数内で、説明するためには、その現象をとらえるための概念を使用する必要がある。受験者にその概念（ものの見方でもある）を共有化するために、課題文でそれらを提示した。それらの概念を用いて、より深い説明ができていくかについても問うた。

【問2】

問いに対する解答を、図表を全て用いながら、論理的に導くことができるのかを問うた。図表それぞれから読み取る能力に加え、提示されている図表を組み合わせることのみでしか到達することのできない解をとらえることができるかを問うた。

【問3】

本問は、前問で導き出された解を用いながら、ここで問われている新たな問いを、新たに提示された図表を用いながら、論理的に導くことができるのかを問うた。また、本問では、2つの関連する問いが立てられている。具体的には、前者の問いで導き出された解（課題）を、後者の問いでは、その解（課題）を克服するための処方箋を求める内容となっており、そのような重層的な問いの構造を理解しながら、図表を用いて、それらに的確に解答することができるのかを問うた。